

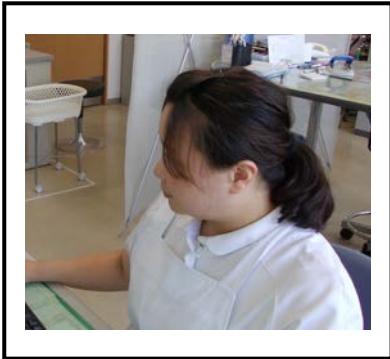


平成 30 年 4 月 入職  
看護師 O さん

私は本館 3 階病棟の看護師として働き、約 3 か月が経ちました。学校を卒業してすぐ技術や知識も未熟で、覚える事もたくさんあり、今の自分に何ができるかさえもわからないことばかりでした。そんなとき、先輩方が技術の見学やケアの実施などに声をかけてくださったり、業務で分からないことを丁寧に指導して下さったりと、病棟の雰囲気や業務にも少しずつ慣れてきました。

そして、看護師として患者さんと関わっていく中で、自分にできることも増え、喜びを感じ楽しく働いています。一方で、私の一つの判断や一つの行動に人の命がかかっているということを感じます。日々指導してもらった事や覚える事が多く一日一日があっという間に過ぎて行きました。まだ知識も技術も不足していて不安も大きく看護師として患者さんと関わっていく仕事の責任の大きさと、自分の未熟さを感じることもあります。

配属先が急性期治療病棟ということもあり、心身共に辛く入院して来たばかりの患者さんと関わることも多く、患者さんとの信頼関係の構築が重要です。今も変わらず、自分と患者さんとの関わり方が正しいのか自信が持てず、これでよかったのかと反省する事ばかりです。今の未熟な看護技術でも、患者さんに「ありがとう」と言ってもらえる事で、こんな私でも患者さんにとっていい影響を与える事ができているのではないかとすごく励みになります。これらの経験や先輩方の患者さんへ向き合う姿を手本にして自分なりに患者さんとの関わり方を見つけていきたいと思っています。



平成 30 年 4 月入職  
看護師 Kさん

私は今年の 3 月に看護学校を卒業し、4 月に入職しました。社会人経験をしてから看護師を目指したので、他の方より覚えが悪くみんなについていけるか不安でした。

そんな私にも先輩方は丁寧に指導してくださり、徐々に病棟内の雰囲気にも慣れてきました。まだまだ出来ないことは多いですが、一つずつ確実にできることを増やしていきたいです。

病棟内では、患者さんも私に声をかけてくださるようになりました。まだ患者さんの話を傾聴したりするくらいしか出来ていませんが、患者さんからは「話を聴いてくれてありがとう、また聴いてね。」という言葉をもたらえた時はすごく嬉しかったです。今は、毎日の業務に慣れることで精一杯ですが、私は笑顔で患者さんと接し、元気を与えられるようになりたいと思っています。